

人口動態の変化を見据えた労働環境の整備

(三谷産業グループ)

人口動態の変化を見据えて

「人生 100 年時代」とも言われ、特に日本は、医療の高度化などによる寿命の延長により、高齢人口が非常に高まっている一方で、少子化が進んでおり総人口は減少に転じる時代となっています。

こうした背景において、これからは健康寿命を延ばしながら長く働くことが重要となってきます。医療の発達等により高齢者の健康年齢は上昇しているとも考えられます。

三谷産業グループでは、社員が高齢になっても、長年培ってきた知見・経験を活かすことができる「働く機会や場所」を提供することが、社員にとっても、また会社や社会にとっても有益なことであると考え、無期限の継続雇用制度を導入しています。

● 無期限の継続雇用制度

人生の節目となる 60 歳のタイミングで、社員一人ひとりがライフステージの状況に合わせて今後の働き方を見つめ直し、自身にとって最適なワークライフバランスをデザインできる制度となっています。これは、60 歳以上の自由な働き方を叶え、新しい働き方改革を実現できるものと考えています。

三谷産業グループは、今後も社員が長くいきいきと働くことができる、より良い職場づくりを目指してまいります。

[制度概要]

- 60 歳以上の、継続雇用を希望する国内グループ全社員を対象とします。
※66 歳となる年度からは評価基準を満たした社員が対象になります。
- 60 歳から 65 歳となる年度までを「マスター正社員」として雇用します。

人口動態の変化を見据えた労働環境の整備

三谷産業グループ

- 66 歳となる年度からは「マスター嘱託社員」（嘱託契約は 1 年更新）として雇用します。
- 65 歳まで昇給があります。
- 退職まで成果に見合った賞与を支給します。
- 退職金は 60 歳に達した年度末での支給に加え、継続雇用終了後にも支給します。
- 原則 60 歳の「役職定年制」も導入します。

関連プレスリリース：

[2021 年 2 月 2 日公表「60 歳以上の働き方改革を実現！無期限の継続雇用制度を新構築」](#)